

< 沖縄県立開邦高等学校 >

(英 語) 科 授 業 シ ラ バ ス

| | | |
|--------------------|------------|-------------------------------|
| 科目名 | 単位数 (標準単位) | 学科・学年・学級 |
| English Expression | 2 単位 | 学術探究科 第3学年 1, 2, 3, 4, 5 組 |

1 学習の到達目標等

| | |
|------------|---|
| 学習の到達目標 | <p>1. 幅広い話題について、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図る。</p> <p>2. 英文の書き方やパラグラフの構成の仕方を学び、場面や目的を意識して英文を書くことができる。</p> <p>3. 英文を書くことを通して、積極的に自分の意見や情報を伝えようとする態度を育成する。</p> |
| 使用教科書・副教材等 | <p>三訂版 入試必携英作文 <i>Write to the Point</i> (数研出版)</p> <p>Active Listening 30 分</p> <p>Vintage (いいずな書店) その他問題集等</p> |

2 学習計画

| 学期 | 月 | 学習項目 (単元等) | 学習内容 | 評価の観点 評価規準 | 考查範囲 |
|-----|---------|--|--|--|--------------|
| 一学期 | 4 5 | ・ Write to the point 1-2 ・ Active Listening 1-2 | ・ 英語表現のさまざまな形に触れる。 ・ 主語を意識し、英文を書く。 | <p>・ 文のつながりや構成を考えて、書くことができる。</p> <p>・ 伝えたい内容や意見が相手に伝わるように、書くことができる。</p> <p>・ 表現ができないところがある際、自分の知っている表現を用いて書こうとする。</p> <p>・ 場面に応じた表現を、分かりやすく、適切に書くことができる。</p> | 中間 考 査 |
| | | ・ Write to the point 3-4 ・ Active Listening 3-4 | ・ 目的・理由の表現を意識し、英文を書く。 | | |
| | | ・ Write to the point 5-6 ・ Active Listening 5-6 | ・ 現在完了形、過去形、未来形等、時制を意識し、英文を書く。 | | |
| | 6 | ・ Write to the point 7-8 ・ Active Listening 7 | ・ 動詞の語法を意識し、英文を書く。 ・ 関係詞を用いた表現を書く。 | | 期末 考 査 |
| | | ・ Write to the point 9-10 ・ Listening 教材 | ・ 時間の表現方法を学習し、英文を書く。 ・ 数字の表し方を学ぶ。 | | |
| | 7 | ・ Write to the point 11/12 ・ Listening 教材 | ・ 仮定・条件の基本から応用まで学び、英文を書く。 | | 中間 考 査 |
| | 9 10 | ・ Write to the point 13/14 ・ Listening 教材 | ・ 比較の基本・応用を学び、英文を書く。 | | |
| | | ・ Write to the point 15/16 ・ Listening 教材 | ・ 譲歩の表現を学び、英文を書く。 ・ 重要表現 (1) を学び、英文を書く。 | | |
| | | ・ Write to the point 17/18 ・ Listening 教材 | ・ 重要表現 (2) を学び、英文を書く。 ・ 「S は～だ」というような表現を学び、英文を書く。 | | |

| | | | | | |
|--|----|---|---|--|------------------|
| 一 学 期 | 11 | <ul style="list-style-type: none"> Write to the point 発展問題 (長文英作文+要約) 共通テスト対策実力完成シリーズリスニング (ラーンズ) | <ul style="list-style-type: none"> 大学入試に対応できる総合的な英語力をつけるため、長めの和文英訳と要約に取り組む。 様々な国の人が話す英語に触れながら、英語の特徴やアクセントなどから英語を聞き取る練習をする。 リスニング問題に触れ、自分で工夫して使用できるようになる。 多くの問題に触れ、弱点の克服に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> さまざまな分野の和文を既知の語彙を工夫して英訳する実践から学ぶ。 長文を読み要約する際の言い換え表現やつなぎ表現について学ぶ 様々な国籍の人の英語に触れる。 | 期末 考 査 |
| | 12 | <p>過去問題・個別課題等</p> <p>過去問題・個別課題等</p> | | | |
| <p>【1学期/2学期の評価】</p> <p>①定期考査(実力・中間・期末)</p> <p>②各課の補充問題及び課題等の提出物</p> <p>③クラスへの積極的参加</p> | | | | | |
| 三 学 期 | 1 | 過去問題・個別課題等 | <ul style="list-style-type: none"> 試験等にも対応できる総合的な英語力を身につける。 多くの英文を覚え慣れるようにする。 多くの例題に触れ、総合的な英語力の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 各大学の過去問題や演習に主体的に取り組むことができる。 | 考 査 な し |
| | 2 | | | | |
| <p>【3学期の評価】</p> <p>①課題などの提出物</p> <p>②クラスへの積極的な参加</p> | | | | | |
| <p>【年間の評価】</p> <p>宿題、課題提出などもふまえ、1学期,2学期,3学期の成績を総合し、年間の学習成績とする。</p> | | | | | |

3 その他

| | |
|---------------------|---|
| 確かな学力を身に付けるためのアドバイス | <p>授業が始まる当初は英文を書き上げるのに少し時間がかかるかもしれませんが、例文を基にしてコツコツと書いていくと「感覚」が身に付いてきます。慣れてくると、次第に英文で表現することが楽しくなって来ます。同時に、色んな英文に触れて読んで様々な表現に触れる習慣をつけて下さい。役に立ちそうな英語表現を見つけたら、専用のノートを作って、簡単でも構わないのでメモを取りましょう。授業で使うテキスト+作ったノートを活用していくことで、説得力があり論理的な英文を創り出せる力が身に付いてきます。和文英訳では、日本語をどのように解釈するかが鍵になります。日本語の表現されない部分までも英語では表現できるような力をつけていきましょう。</p> |
| 授業を受けるに当たっての留意事項 | <p>その日行った授業の復習を丁寧に行って下さい。提出した英文が添削されて返却されたら、じっくりその文章を見直して質問や疑問があれば担当の先生に確認する習慣をつけて下さい。</p> |